

新興国レポート

中国 米国債保有残高減少へ

2ヵ月連続減少 金の保有残高は増加

- 2019年4月時点の中国の米国債保有残高は1兆1,130億米ドルとなり、2019年3月から減少となった。
- 米国債の保有を減らす一方で、中国は外貨準備において金の保有量を増加させている。
- さらなる米国債の保有残高減の観測があるものの、多額の資金での投資先は米国債以外では困難か。

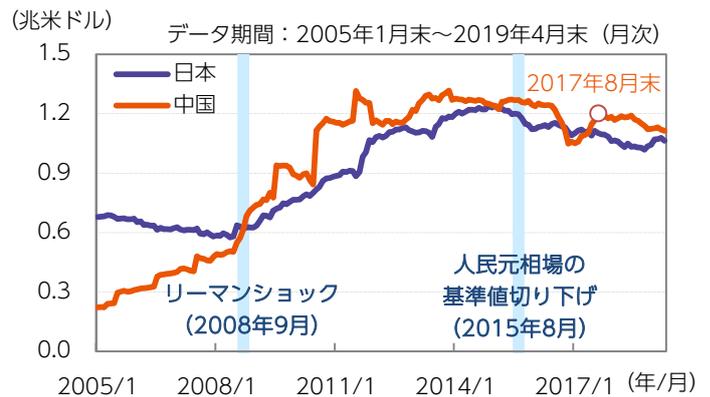
世界最大の米国債保有国である中国が、保有残高を減らしつつあります。

米国財務省によれば、2019年4月末時点の中国の米国債保有残高は1兆1,130億米ドルとなり、3月の1兆1,205億米ドルから減少となりました。米中貿易摩擦の先行き不透明感が継続する中、2017年8月末を直近のピークに減少傾向となっています（図表1）。保有残高の減少は2ヵ月連続となったものの、中国は依然として世界最大の米国債保有国となっています。そのため、保有残高を大幅に減らすこととなれば、米中関係に影響を及ぼす可能性があることから、引き続き中国の保有動向を注視していく必要があります。

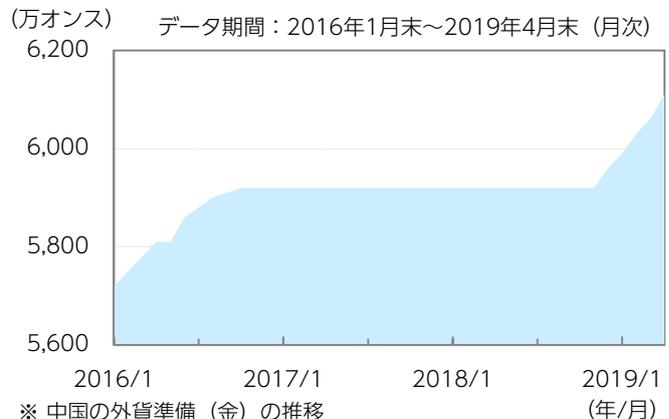
中国は米国債の保有残高を減らす一方、外貨準備において金の保有量を増加させています（図表2）。足元では、トランプ米大統領が中国に対する制裁関税第4弾を発動する考えを示していることから、中国は、米ドル資産頼りの外貨準備から徐々に脱却していくことで、米国をけん制したい狙いもあるとみられています。

中国が日本を抜いて世界最大の米国債保有国となったのは今から約11年前です。その後は、2015年の人民元相場の基準値切り下げなどによりやや不安定な動きとなったものの、おおむね1兆2,000億米ドル台で推移してきました。昨今の中国の米国債保有残高は、米中貿易摩擦の激化等もあり減少傾向となっています（図表3）。5月にトランプ米大統領が対中制裁関税引き上げに踏み切ったことに対抗するために、中国が米国債の保有をさらに減らすとの観測もあるものの、実際には米国債以外に多額の資金の投資先は見当たらず、現段階では大量売却の可能性は低いものとみられます。

図表1：中国は日本を抜き世界最大の米国債保有国に



図表2：中国は金の保有量を増やしている



図表3：米国の制裁関税発動と減少傾向にある中国の米国債保有残高



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>